

釣ヶ崎海岸に「環境にやさしいトイレ」

釣ヶ崎海岸に、新たに「洗浄水を循環利用して汚水を外に流さない方式」の環境にやさしいトイレを作ります。
一宮町と千葉県が協力して特定非営利法人次世代水回り研究会が設置します。

釣ヶ崎海岸は、一、二〇〇年の伝統をもつ上総十二社祭りですが、毎年9月13日に盛大に行われることや、近年では世界でも有名なサーフィンポイントとしてワールドカップが開催されるなど、多くの来訪者があり、当町の文化継承・観光リゾート地として重要な場所となっております。
伝統行事を守りながら地元の方々はもとより県内外の方々にも親しまれる海岸づくりを皆様とともに進めてまいります。

新しく作られるトイレの維持管理は、地元のボランティアの方々に参加して行います。皆様のご協力をお願いいたします。

環境ボランティア植樹体験

塩害や津波から私たちの生活を守ってくれた海岸防災林の植樹体験を3月15日(日)に行いました。地域住民や家族連れなど117名のボランティアが参加され、黒松・マサキ・トベラ・ヤブツバキ・ヤマモモの苗木300本を植樹し、県北部林業事務所より保安林の役割について説明がありました。
当日は参加された方から『緑の募金』七、〇八二円のご協力を頂き、ありがとうございます。この募金は、千葉県緑化推進委員会へ送り、身近な環境緑化から、森林の整備・環境学習など様々な緑化事業に役立てられます。



イメージ図

ボランティアによる洞庭湖周辺の草刈り実施

桜の名所として知られている「洞庭湖の桜」は老木が多く、管理も行き届いておりませんが、桜の開花時期を迎え、町主催で環境整備のボランティアを募集しました。

3月28日、「未来の上総一宮をつくる会」や、個人参加の方々、役員職員厚生組合のボランティア等総勢64名の参加により、洞庭湖周辺の草刈りやゴミ拾いを行いました。

おかげをもちまして、大変きれいになり、桜の開花を迎える事ができました。今後とも町民の皆様と町が協働し、このような活動に取り組んでまいりたいと思います。
ご協力ありがとうございました。

産業観光課



長生特別支援学校から

お花をいただきました。

長生特別支援学校から、パンジー・ビオラの花をいただきました。生徒達が丹精込めて育てた花々が保育所の修了式を彩ってくれました。



新しい区長が決まりました

町からの連絡事項や地域の皆さんの意見や要望などを取りまとめ町へ伝える行政の区長が決まりました。区長は、各區で選出された方を町の非常勤特別職として委嘱しています。

綱田区	緑川 芳郎
釣区	原田 弘介
枇杷畑区	小関 弘芳
権現前区	鶴澤 司
大村区	秋場 健次
岩切区	篠瀬 栄進
矢畑区	小関 晴彦
稲荷塚区	長谷川和良
原区	宇佐美修一
新熊区	田中 賢一
1区	園岡義太郎
2区	伊藤 嘉章
3区	志田 延子
4区	小安 和夫
5区	宮本 正二
6区	宇野 敏行
7区1	奥地 貞夫
7区2	吉田 時夫
8区1	高師脩二郎
8区2	片岡 輝彦
9区1	宮本 茂世
9区2	渡邊 昇一

区長の主な仕事

- 地域住民の要望の取りまとめ
- 行政情報の伝達(区長回覧)
 - 第1・第3水曜日
- 防犯灯の管理・新設に関する申請
- 集会所の新築・補修の補助金申請
- ごみゼロ運動の協力
- 集積所の管理
- 社会福祉協議会活動

一宮町区長設置条例

第1条の改正について

平成21年2月2日付けで、一宮町区長会から一宮町区長設置条例の見直しの要望書を受けました。町としても今後、実現される新しい町づくりで求められる協働のなかで、地域で共に助け

10区	御園生末年
11区	渡邊 守一
12区	鶴岡 芳郎
13区	田中 光雄
14区	丸島邦一郎
15区	河野 義一
16区	河野 文七
17区	長谷川 満
船頭給区	中村新一郎
新地区	井桁 豊
宮原区	露崎 吉春
海岸区	豊倉 貞夫
新浜区	秋場 實

合う「共助」を形成するうえで重要な役割を持つ区長が、行政連絡員だけでなく住民自治へ向けた官民連携や協働構築の担い手として展開できるように区長の設置目的の改正を行いました。

(改正前)

第1条 本町行政の効果と便宜を図るため区長及び区長代理者を置く。

(改正後)

第1条 町は、住民に対する町政の伝達及び町政への住民からの意見反映と住民の自主的協力を得て、民主的かつ住民福祉を重視する効率的な行政の執行を確保するため区長及び区長代理者を置く。



一宮町長
玉川 孫一郎

町長さんってなにをNo.5

釣ヶ崎海岸に環境保全型トイレが

3月13日、NPO法人次世代水回り研究会からお招きを受けて、釣ヶ崎海岸に設置する海岸環境保全型トイレの起工式に出席してまいりました。

釣ヶ崎海岸は、一・二〇〇年の伝統を持つ上総12社祭りの神輿が集結する祭典場であり地域文化継承の地として重要な役割を果たしてきました。一方近年では、世界的にも有数のサーフィンポイントとして知られ、昨年9月には第1回千葉県知事杯が開催されるなどマリンスポーツの地としても注目されています。

しかし整備状況はほとんど手付かずで、トイレも汲み取り式でこの地にふさわしい状態とは言えず、近隣住民や利用者から整備について強い要望がありました。

昨年秋季以降、NPO法人次世代水回り研究会から町に対して、釣ヶ崎海岸で、海に汚水を流さない環境保全型トイレの実証実験をおこないたい旨協力依頼があり、また住民協働の地域づくりをめざす千葉県からも町に対して調査研究の協力依頼がありました。そこで12社祭り保存会や関係者とも話し合いを重ね、町としても全面的に協力することになりました。

施設は、水回り研究会が国土交通省から助成を受けて建設します。維持管理は地元のボランティアグループの協力を受けておこないます。

早ければ、4月中にも完成し、ゴールデンウィークにはきれいなトイレが利用できます。清潔なトイレがいつでも利用できるような皆さんのご協力をお願いいたします。